

## 令和7年度 岐阜県子育て支援事業従事者等研修

### 1. 研修目的

子育て現場を取り巻く現状を把握し、より多様化・複雑化する子育て当事者の不安や悩みに対応するためのスキルアップを図る。

### 2. 研修会日程

令和7年12月17日（水） 10時00分～12時00分

### 3. 会場

岐阜県庁 20 階 会議室

### 4. 対象者

県内の子育て支援業務従事者等

### 5. 研修内容

時 間	内 容
10時00分 ～12時00分	<p>◇講義テーマ <b>遊びを通して子どもが育つ場所 ～児童館や子どもの居場所等の役割を考える</b></p> <p>児童館のガイドラインが改正され、子どもの権利を保障する記載が充実するとともに、「子どもの声を聴くこと」の必要性も記されてる。遊びを通して育つ場所としての児童館の役割を再確認するとともに、「子どもの声を聴く」というのはどういうことなのか、その意義を学ぶ。</p> <p>◇講師：原 京子 氏 子どもアドボカシーセンターNAGOYA 代表理事、 元石巻市子どもセンターらいっく館長</p>

### 6. 講師プロフィール

原 京子 氏

（子どもアドボカシーセンターNAGOYA 代表理事、元石巻市子どもセンターらいっく館長）  
1987 年、幼児期にこそ自然とかかわって遊ぶことが大切と考え仲間 5 人と自主保育グループを発足。以来、子どもの遊びと遊び場に関する活動を続ける。2001 年に特定非営利活動法人こども NPO を設立し、子どもの参画を实践する場として「ピンポンハウス」を開設。その後、名古屋市緑児童館館長として児童館の企画や運営に子ども自らの提案や参加を促す。東日本大震災復興支援事業の一環として、子どもの権利を柱に子ども参加で運営することを目指した「石巻市子どもセンターらいっく」の初代館長に就任。現在は、子どもアドボカシーセンターNAGOYA 代表理事として、子どもアドボカシーを地域に広げる活動に取り組んでいる。